

町内の小中学校では、教職員の長時間勤務等への対応策として、夏休み期間中の8月13日(月)・14日(火)・15日(水)を『学校閉庁日』として教職員の休暇取得を促進する取り組みを実施します。

夏休み中の「学校閉庁日」の取り組みについて

学校閉庁日の取り組みに関するお問い合わせ、閉庁期間中の緊急連絡等につきましては、教育委員会学校教育グループ(☎ 29-7036)までお願いします。



第2部

街の人々の暮らし その2

文責
平和教育マスター
新井 榮



次にこちらの人たちの食ですが、主食は日本と同じお米です。その他の食材の中心は魚類と野菜です。これは近くに大きなトレンサップという湖があり、そこでたくさんの魚が獲れるので、肉より安く手に入るからです。

朝食は主に魚料理とご飯ですが、屋台などでボッポー(日本円で三十円ほど)という米の粉で作った麺に野菜や肉の入った丼物を食べる通勤者や、学生を時々見かけます。朝食を作る手間を省くばかりでなく安上がりなところがあるからでしょう。次に昼食ですが、野菜炒めとご飯が中心です。昼食が終わると、ほとんどの人は昼寝をします。勿論、務めている人も、昼休みが2時間近くあるので、家に帰って昼寝をするのです。

夕方になると、道路脇にたくさんの屋台が並ぶところがあります。しかしこの道路縁は交通量が多く、車やバイクが通るたびに砂埃が立ち込める大変なところなんです。けれど暗くなるとその土埃も気にならなくなるのでしょう。そんな所で焼き鳥のようなものをつまみに、ヤシ酒を飲んでいる人々をよく見かけます。このヤシ酒はアルコール度が高いのですが、とても安くコップ一杯が日本円で二・三十円ほどです。私も何度か勧められ飲んだのですが、飲むとお腹を壊すのでそれ以来口にしません。

ちなみにお父さんたちの収入ですが、警察官や役所勤めの公務員で月二十ドルから三十ドル(今から十六・七年前の報酬、最近はこの二〜三倍に)程度です。観光業の人たちでさえ八十ドルから百ドルほどです。私たちからすると、ささやかな収入のように見えますが、物価が安いだけに何とか生活できるのです。それに内戦中の厳しい生活を経験したこの人たちにとって、食が満たされる今の生活に、満足しているのでしょう。

公民館図書室

新刊のご案内

新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしております。

【早来公民館】

〈一般書〉北海道コテージ&キャンプ場ガイド 2018-19(紺谷 充彦)／育てる力 栗山英樹『論語と算盤』の教え(栗山 英樹)／A I vs. 教科書が読めない子どもたち(新井 紀子)／デートクレンジング(柚木 麻子)／オリンピックへ行こう！(真保 裕一)

〈児童書〉カブトムシクワガタムシ(海野 和男)／学校では教えてくれない大切なこと 4 ステキになりたい(オオノマサフミ)／マルの背中(岩瀬 成子)／だるまちゃんとかまどんちゃん(加古 里子)／だじゃれ世界一周(長谷川 義史)

【追分公民館】

〈一般書〉縄文人に相談だ(望月 昭秀)／私物化される国家 支配と服従の日本政治(中野 晃一)／日本語が世界を平和にするこれだけの理由(金谷 武洋)／祈りのカルテ(知念 実希人)／ほどほど快適生活百科(群 ようこ)

〈児童書〉なぜと問うのはなぜだろう(吉田 夏彦)／じてんしゃにのれたよ 乗り方と交通ルールを学ぼう！(スタジオタッククリエイティブ)／ゲーターガールズふたりはなかよし(ジョアンナ・コール、ステファニー・カルメンソン)／ほっぴすてっぴかぶとむし(増田 純子)／おさるのジョージはいしゃさんへいく(M&H.A.レイ)

図書室開室日 火～日曜日 9時～17時

※他にもたくさんの本を揃えています。ぜひご利用ください。

今月の展示テーマ

『野球だいすき！ 応援しよう！！』

夏休みの日本ハムファイターズ読書促進全道キャンペーン。2018年も、条件を達成した小学生とご家族を札幌ドームのファイターズ戦に抽選でご招待するという昨年と同様の企画です。甲子園の全国高校野球選手権大会は、記念すべき第100回大会。真紅の大優勝旗も新調されたそうです。今年の夏は、北海道代表の高校球児の戦いとファイターズを応援して盛り上がりましょう！本も読んでね！

